

みんなで地域医療を支えよう

問合せ▶保健総務課(☎305-6291)

地域医療は、私たちの生命や健康を守るために必要不可欠な社会資源の一つであり、多くの医療従事者や関係者によって支えられています。そして、地域医療を将来にわたって維持していくためには、医療を受ける私たちが、地域医療を支える取組を一つ一つ積み重ねていくことが大切です。

詳細はこちら⇒



かかりつけ医をもって、適正受診を心がけよう

病院や診療所には、施設の設備や規模などに応じた役割分担があり、それぞれが協力しながら、地域全体の医療を支えています。症状や時間帯に合わせて、適正に医療機関を受診することを心がけましょう。

【医療機関の役割分担と適正受診のためのポイント】



患者



・かかりつけ医をもとう

かかりつけ医をもつことで、気になる症状を気軽に相談したり、既往歴などを踏まえて診察してもらったりすることができ、病気の早期発見・早期治療などにつながります。また、専門的な治療が必要なときは、適切な医療機関を紹介してくれます。

・症状に合った医療機関を受診しよう

日常的な病気やケガであれば、かかりつけ医などの身近な診療所(クリニック)を受診することを心がけましょう。大きな病院を受診するより、待ち時間が短く済んだり、自己負担が少なくなったりする場合があります。

・できる限り平日や日中に受診しよう

休日や夜間に受診すると、追加で費用がかかるほか、日中とは異なり、人員体制などが限られているため、検査などが十分にできないことがあります。

かかりつけ医

(中小病院やクリニックなど)



- ・日常的な診療や予防接種
- ・健康相談
- ・長期的な健康観察
- ・軽症の救急患者の対応 など



専門的な治療
や精密な検査
が必要なとき

紹介

地域連携
(役割分担)

紹介

症状が安定
したとき

大きな病院

(一般病床200床以上)



- ・専門的な治療や精密な検査
- ・重症の救急患者への対応 など



大きな病院を受診する際は、かかりつけ医などの紹介状が必要です。紹介状なしで一般病床200床以上の大きな病院を受診すると、「選定療養費」という特別な料金の支払いが必要な場合があります。

急な病気やケガで不安な時は、相談しよう

適正受診を心がけていても、急な発熱やケガをしてしまったときに、判断に迷ったり、不安になったりすることは誰にでもあることです。そのようなときは、救急電話相談などを活用すると、症状に合わせた対応などのアドバイスを受けられます。

▼電話による相談

医療機関の案内や、急な病気に関する相談を24時間受け付けています(歯科を除く)。

・茨城おとな救急電話相談(15歳以上) ☎7119

・茨城子ども救急電話相談(14歳以下) ☎8000

※つながらない場合は、☎050-5445-2856

▼インターネットによる救急相談

・全国版救急受診アプリ「Q助」

症状を選択していくと、緊急度や対応が表示されます。



↑ App Store ↑ Google Play

・こどもの救急(生後1か月～6歳児)

休日や夜間の診療時間外に、医療機関を受診するかの判断の目安を提供しています。



・小児オンライン医療相談(中学3年生まで)
チャットで医師に相談できます。



命をつなぐボランティアに参加してみよう

病気やケガの治療に必要な血液や骨髄などは、皆さんの協力によって確保されています。

「献血」や「骨髄バンクへのドナー登録」など、健康なうちにできる命をつなぐボランティアに、ご協力をお願いします。

献血について⇒



ドナー登録について⇒

